

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

放課後デイサービスいっぽいっぽ山の街

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	法令を順守したスペースを確保しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	人員配置基準より多めの職員を配置しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	車椅子の方でもスムーズに移動できるように建物内すべてバリアフリー化しています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	毎日閉所後、一日の振り返りを中心とする話し合いを行い、月に一回職員が参加する業務会議を実施しています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	昨年度は保護者様との日々のやりとりや交流の中で、ご意見を頂戴し、ご意向を汲み取るという形の方法をとっていました。今年度より、アンケート調査を実施し、業務改善に繋げ、支援に反映させていただいています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	昨年度までは公表はしていませんでした。本年度より、ホームページ上で公開いたします。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	外部の第三者による評価は現在実施しておりませんが、今後必要に応じて対応を検討します。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	月に一度事業所内で研修を実施しています。外部研修後に事業所内で伝達講習を実施しています。法人内でも全職員対象の全体研修を実施しています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	毎日支援終了後、その日の振り返りを行なうと共に、適宜お子様と保護者様のニーズや課題の客観的な分析を行なっています。また、年二回保護者面談を行い、放課後等デイサービス計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	標準化されたアセスメントツールを使用しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	複数名の職員で検討し立案しています。また、毎日閉所前に、立案された活動プログラムを、勤務する職員に伝達することで、共有意識を高めています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	個々の発達状況・特性・お子様のニーズや課題を総合的に分析し、立案していますが、その日のお子様の状態や様子を見極めた上で、臨機応変に対応し、活動プログラムを工夫し実施するようにしています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	利用時間の長さが違うので、それぞれに応じたプログラムを準備しています。特に長期休暇に関しましては、平日では時間的に厳しい活動を様々取り入れるようにしています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	個々の発達状況、特性、その日の状態や様子に応じて、個別活動と集団活動のどちらでも対応出来るように、人員を確保する等、環境を整えています。その内容を踏まえつつ放課後等デイサービス計画を作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	毎日支援開始前に話し合いを行い、支援の内容や役割分担について確認しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	支援終了後にその日の支援の振り返りを行い、気付いた点を記録し残すようにしています。記録に残すことにより、全職員が情報を共有し、今後の支援に反映できるようにしています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	毎日記録をとることを全職員に徹底しており、支援の検証・改善に繋げています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	モニタリングの時期だけでなく定期的に実施することで、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を随時判断しています。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	ガイドラインを順守し、基本的活動を複数組み合わせ支援を実施しています。	

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	サービス担当者会議は基本的に児童発達支援管理責任者が参画し、必要な情報共有を行なっています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	保護者様のご協力の元、学校便りや広報等の確認を随時実施しています。また、保護者様の了承を得た上で、学校と直接的に情報の共有・連絡調整等のやりとりをさせていただいています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	現在までに医療的ケアが必要な子どもの受け入れがありませんでした。今後必要となれば実施していきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	就学前に利用されていた施設との情報の共有は大切な事項です。また、利用開始後は大きく環境が変化するため、お子様の生活や状態が落ち着くまで、必要に応じて連携を行う等、情報の共有と相互理解を徹底して努めます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	現在までに学校を卒業し、障害福祉サービス事業所へ移行したお子様はおられません、今後必要となれば実施していきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	外部専門機関が実施する研修等へ参加しています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	放課後児童クラブや児童館との交流については、限られた時間の中では実施が難しいことから、現在は実施しておりません。お子様の中で併用利用されている方はおられます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	地域活動支援センターの実施するイベントに積極的に参加する等、必要な連携をとっています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	毎日連絡帳を通して保護者様と連携をとっており、必要に応じて個別でお手紙やお電話のやりとりを行っています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	保護者様からご相談があった際は、個別に資料を用意しサポートを行っています。また、希望される場合は実施している内容や声掛け、関わり方を保護者様に伝えたり、実演にて伝達する等の方法で対応力の向上を図る支援を行っています。	
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	利用契約時、主に重要事項説明書を用いて丁寧に説明させていただいています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	毎日連絡帳を通して保護者様と連携をとっており、必要に応じて個別でお手紙や電話のやりとりを行っています。その中で特に重大な悩みや解決すべき課題が生じた場合におきましては、迅速かつ丁寧にアドバイスや助言を保護者様に対してさせていただき、必要時には学校の先生に対しても情報連携させていただいています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	月一回のびのびカフェという茶話会を開催しています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	相談につきましては、迅速かつ適切に対応し全ての職員が情報共有するように徹底しています。苦情につきましては、事業所内に問い合わせ窓口を設置し、市町村が設置している窓口があることについても、保護者様に説明させていただいております。様々な申し入れに対しては、児童発達支援管理責任者へ速やかに報告することとしており、お電話等で丁寧に対応しています。また報告書を作成し内容を全職員で周知徹底するようにしています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	月一回お便りを発行しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	個人情報に記載された書類につきましては、鍵付きのキャビネットに保管しています。また、不要になった場合は早急にシュレッターにて破棄しています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	個々の特性に合わせた支援を行わせていただいています。視覚支援を用いる等、情報伝達の方法にも配慮させていただいています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	地域の自治会、学校行事等には可能な限り参加しています。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	保護者様には、契約時に説明させていただいています。職員にはマニュアルを策定し研修を行い、周知しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	月一回避難訓練(地震、火災、不審者等)を実施してます。また、随時避難所や避難バックの中身の確認を行うことで、災害に対する意識を日々高めています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	マニュアルを制定していると共に、全職員に対して年一回以上の虐待研修を実施しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	虐待研修を通して身体拘束等への理解と知識を深めています。身体拘束につきましては、現在は実施していませんが、今後やむを得ず実施する場合には、ご本人様と保護者様とで繰り返し相談した上で、放課後等デイサービス計画に記載します。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	契約時に必要な情報収集を行い、重要な情報については口頭確認だけでなく、保護者様から主治医の指示書を元にご説明させていただいています。食物アレルギーのお子様については、提供するおやつを事前に保護者様に伝え、保護者様と安全性を確認するというダブルチェックの形をとっています。また、アレルギー物質との接触が起こらないように、保管場所を別の場所に設置する等の対応もさせていただいています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	起こったケースにつきましては、記録し事業所内で共有すると共に、早急に原因究明と今後の対策を話し合うことで、次の支援に生かしています。